日本のファッショ化絶対反対

反ファッショ要求貫徹 労働者大会

見よ近代労働者の威容

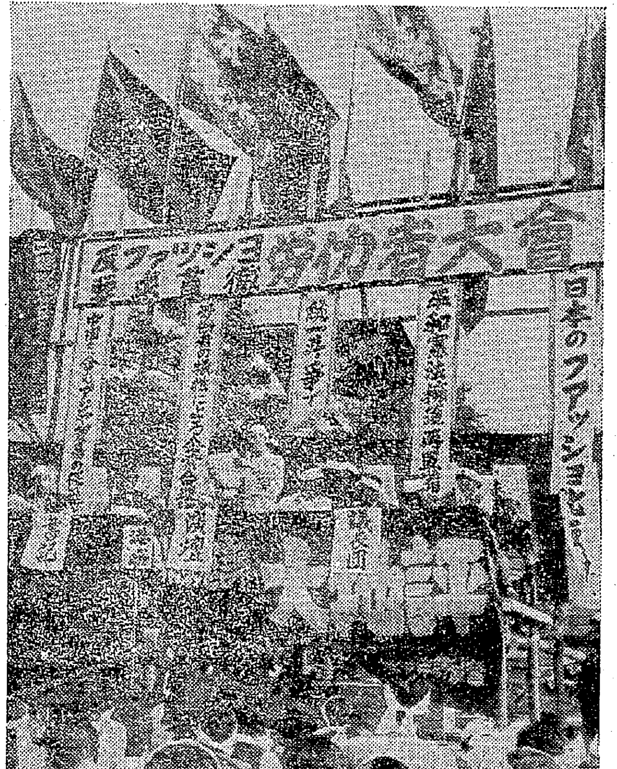
〃三井王国を埋める旗と歌声〃

大地評、福岡、熊本県総評主催の反ファッショ、要求貫徹労働者大会は六十余団体二万名をこえる大会衆を得て八日午前十時から笹林公園で盛大に挙行された。この日会場は後から〳〵とジグザグ行進で繰り込む組合員、炭婦協の旗の波、眼に沁むような鉢巻の白さで埋めつくされ、更に大会を終つて街にあふれ出した大衆は本社前、大牟田市警、地裁大牟田支部から市役所前、更に築町を経て五月橋から染料前に至る順路を延々長蛇の列で示威行進し労働歌とワッショワッショの喊声で震ガイさせ、威大な団結の威力を遺憾なく発揮した。

会場一番乗りは一時金、越年、期末手当を要求して闘争に起ち上つた三染労組の約五百名、次いで東圧、電化、合成、全電通など、三鉱は時間の連絡にミスがあつてこれより大分遅れ午前十時第一陣として三川支部が堂々の入場、ところが驚いた事にはその先頭を六、七人の武装警官が梶棒で躍起に制止しようとしている。「またも理不尽な官憲の弾圧？」一瞬場内はサツと緊張の色を示したが、好く見ると何のことは坑内用の鉄帽に郵便局から借用の服、木製の拳銃を下げた組合員の巧みな仮装とわかつて大笑い、それにしても一寸離れて見ると本物にそつくり、真に迫つた扮装ぶりにヤンヤの拍手が湧く。ノボリに曰く「警察よ民衆の中に帰れ」。続いて宮浦の大地下足袋、炭婦協のプラカードには「警察の七不思議、差入れのリンゴ、キャラメルの行方は？」と大書してあり、夫人目を惹いた。その他思い思いの意匠をこらした各支部デモ隊、炭婦協の繰り込みに大会気分は最高潮に達するうちに大地評蓮尾事務局長の開会の挨拶に次いで議長団に三鉱菊川副組合長、電化安西委員長、市教組坂井委員長、三池炭婦協五島会長を選び、菊川議長から力強い挨拶の後蓮尾事務局長の経過報告、小宮実行委員長挨拶があつて

一、日本のファッショ化反対
二、平和憲法擁護、再軍備絶対反対
三、統一闘争で要求を闘い取れ
四、労働者の犠牲による企業合理化絶対反対
五、中国をふくむアジア貿易の促進と国交の恢復
六、反動吉田内閣打倒、働くものの政府樹立

などのスローガンを満場の拍手で採択　山ノ上事件で不当検束された十六氏が打揃つて登壇、一同を代表して宮浦支部青年行動隊長山本豊君「いかなる弾圧にも屈せず闘う事を誓う」と元気一杯の挨拶を寄れば万雷のような拍手がしばし鳴りも止まなかつた。続いて検察当局に対する抗議文、市長、市議会に対する要望書、大会宣言文を夫々決定、メッセージ、激電、意見発表とわき返る喚呼と拍手のうちに大会は進み、三染労組の「裁判所は仮処分を行う場合は組合の云い分を聞いてからやるよう熊本、福岡、佐賀各裁判所に申入れよ」市教組の「映画ひろしまは映倫を通つているのに文部省当局は上映禁止をねらつている。抗議せよ」以上二つの緊急動議を決定、また〃やらせよやらせろ〃の声で行われた岩屋炭鉱労組、旭ガラス牧山労組からのメッセージは旺んな拍手に迎えられて最後に赤旗の歌を高唱　万歳を三唱して大会を終りデモ行進に移つた。



警察前で一波瀾

二万五千の大行進

デモ隊は議長団、大地評小宮会長らを先頭に延々廿町以上に亘り先づ三鉱本社前に至りジグザグデモで揉みに揉んだ上警察署に廻り附近一帯を嵐のようなあし音とピッピーワッショの掛け声で包みこんだ上地裁前をデモリ　再び市警に取つて返してデモ隊の先頭が玄関前に襲しかゝつた時制服の警官、私服ら約廿名が何を思つたか阻止しようとしたことから揉み合いとなり、小波瀾があつたが　結局押し戻つて意気益々さかんに市役所前に至れば、屋上、バルコニーに待ち構えていた一群はちぎれよとばかり赤旗を振り、紙吹雪を降らせる下を二万のデモ隊はこゝを先途とジグザグで気勢を挙げれば沿道を埋めて見物する市民も労働都市大牟田の組織労働者の威容に改めて目をみはる。

デモ隊はそれから更に三染正門前に至り、漸くたそがれかけた工場街を感激と昂奮のルツボと化し所期以上の成果を挙げて解散したが、三鉱労組はもとより闘う三染労組員の闘志をいやが上にも盛り上げ

反ファッショ大会のスナップ

焦点

山ノ上クラブ事件、旭ガラス労組員四十名検束など争議に対する官憲の不当弾圧の実情調査のため左派社会党から派遣された武藤運十郎代議士は九日午後二時　三池労組代表など多数の出迎えをうけ大牟田駅着　三鉱労組本部で挨拶ののち、市警、地検　地裁を歴訪、①労働争議は刑事問題と同一視できぬ、慎重に取扱い厳正公平にすべきだ。②身柄不拘束で取調ぶべきだ、と申入れ十日朝離牟した。なお労組本部で、つぎの一問一答をかわした。

再軍備に繋る官憲の弾圧

左社 武藤代議士來牟談

検束問題について

武藤─検察庁の労働争議に対するやりかたは、ひとつの弾圧で、北海道など全国的な傾向にある。最高検察庁にいき全国に指令したのかと追及しても本音をはかない。しかし地方検事は上からの命令だといつている。資本攻勢、再軍備政策とつながるだけに、こん後各部面に弾圧が強まろう。つまりMSAというアメリカの軍事援助のため再軍備をせねばならぬ、アメリカは最低三十二万か三十五万はつくれ　日本の人口なら五十万はあたりまえだとおしつけてきている。吉田首相の特使として池田がアメリカで交渉中だが　これは日本の運命を左右しよう。恐らくこれで日本は一方的に再軍備せられ　はげしい労働者、農民、婦人　青年を中心にして反対にぶつかる、再軍備に賛成する保守陣営は、この抵抗を排除せねばならず、労働者弾圧は必至だ。労働争議は、こん後はげしく困難になろう。だが、われ〳〵はこの闘いに負けない。彼らは再軍備を既成事実とし国民に「出来たものは仕方がない」とおもいこませ、憲法改正の国民投票をするにちがいない。国民投票は、啓蒙宣伝をやつてい的にやれば、われわれの方が有利だ。

いつ憲法改正をやるだろうか

武藤─国会答弁をきいていると吉田首相も、いままでの考えをすて再軍備のハラをすえたようだ。やるとはいわぬが時期の問題としている空気がみえる。

憲法改正の時期については

保守三党が、どこまでレンゲイできるかにかゝつている。三分の二の議会勢力が必要だから、吉田が多数派工作をして憲法改正の見透しのついた時になろう。改進党、鳩山党が同調するためは吉田の退陣を前提条件にするから三派レンゲイが出来るかは問題だが、多数派工作に懸命になつている。

そのまえに来年の軍事予算をとおし、つぎに憲法改正をやつてこよう。

来年の国会までに多数派工作ができるだろうか。

武藤─そういうつもりらしい

アメリカのMSA援助のやり方は防衛計画や防衛努力と大体の予算をみて多ければ多いだけ、少ければ少いだけやろうとのズルイやり方だ。

軍事予算は相当多額になろうと池田がいつている。二十九年度二万か三万の増員で二百億か三百億円ではといつても、アメリカはてんでうけつけないそうだ。見当はつかぬが相当増員になるのではないか。

法律的準備として保安庁法を改正し保安隊を自衛隊にし外敵の侵略に対抗するものにして通常国会に提出し併行して軍事予算をとるという作戦らしい。

社会党として憲法改正には、どう反対運動をやるか。

武藤─県連を中心に再軍備反対の運動にもりあげるため啓蒙をやりたい。法律論としては投票は衆参選挙と切りはなしたい、そうでないと国民というものは　おかしなもんで再軍備に反対しながらもおれは自由党や改進党に投票したからといつてとんがつてくる　だから再軍備憲法の賛成か、どうかだけでやれば買収もなく義理人情にもはさまれぬ、ヘツキリしてくる。

どう啓蒙運動をやるつもりか

武藤─地道に農村、炭鉱に入つてやるしかない。

いま農村でさえ米がないところもありインフレの進行で一般勤労者の生活も苦しくなろう。それは軍事費にとられるからという怒りが起り不満が増大してくる。そのとき一緒にやるしかない。

中央武藤代議士

検察を取つちめる

泌み泌み眺めた獨房の月

釈放者との座談会

寝込みを襲う　朝食も食わせず連行

前号に引続き、二日保釈で出所した山本豊君ら四名の方（三川の池田君のみ次号紹介）から検挙、取調べの実状、檻房内の生活などいろいろな角度から御話をうかゞつた。輝しい企業整備反対闘争の一頁を飾るエピソードとして我々の記憶に永くとどまるだろうし官憲の弾圧をはねのけて完全な勝利の日まで果敢に、ねばり強く闘つて行くよすがとしたい。

司会　御苦労様でした。先日十一名の方から検察ファッショの実相を聞かせて頂きましたが　八日の反ファッショ大会もこれを焦点として行われ、今後の闘いが続けられて行く訳でもありますので、更に皆さんから詳細御話願いたいと思います。先ず検束された時の状態から初めて頂きましょうか。

山本　十三日午前五時、家内の内に居てまだ寝て居たら〃御客さんです〃と起された。妻は刑事だと云う事を知つていたそうですが、お産上りでもあり心配かけてはと思い、保安要員の出動を装い仕事着のまゝ出掛けました。ジープに松原君が乗せられていた。

森田　十七日午前四時頃妹が知らせて来た。丁度弁当をつめていたところで、顔を洗つて飯を食おうと思つたら急いでくれというのでそのまゝ家を出て五時頃警察に着いた。午後五時頃まで調べられて一房に入れられた。

松原　私のところも十三日午前四時廿分頃、家内が御客さんですよと起しに来たが、警察に引つ張られるなどとは露思つていなかつたので、おかしいなと思い玄関に出て見ると首にタオルを巻いたのが立つている　はゝあと思い〃何ですか？〃ときいたら警察の者だという。何の用事ですかときくと〃逮捕状が出ている。一緒に来て呉れ〃と云うんですが、こちらは身に覚えのない事だし直ぐ帰れると思つて奥で仕度にかゝつている間にも上り口から首をのばしてのぞきこむので、わざと目の前で服を着て家を出た。家内はその日天領町に入院することになつていた。外に出ると山本の家の戸を叩いている、が返事がない。留守だと知らせてやつた。五、六人をまわりを取りまいてジープの所まで連れて行かれた。古賀君の事を云つているのを聞いてそれでは山本、古賀、僕の三人が連れて行かれるのだなと思つた。署についたら二階で直ぐ取調べにかゝつた。間もなく牛乳を呑ませて呉れたので聞いたら組合からだろうと答えた　連れて来られた時何とかして組合に知らせて置かねばと思い、隣りの野方さんの所に、煙草を買いに立ち寄りそれとなく云つて置いたから連絡がついたのだなと思い心強かつた。

古賀　逮捕の時は山本君らと別でしたが、矢張り十三日の午前四時半頃、刑事が三名来ました。ネクタイをしめてピシャリした服装をしており「聞きたい事があるから来て呉れ」と云うのでその日は出勤するつもりだつたのですが（十一日胃ケイレンを起し十二日は病欠）午前中には帰してもらえると思い、派出所に行き　そこからジープに乗せられて署に着いたら逮捕状を見せられた。異存ないかと聞くので〃ある〃と答えたら確証が挙つているのだと云い、何も指んだが刑事部長が来て構わん打ち込めという事で房に入れられたそれが八時半頃、黒板に山本松原両君の名が書いてあつた。

名前を呼び交して泣く

苛酷な官憲の取調べ

司会　それでは次は取調べの状態について─

山本　大牟田で二日間、久留米では初めなくて拘留理由開示公判前二日と帰つてから二日連続、調書は大牟田署で一通、検事のところで一通、久留米検察庁で二通、計四通取られた。グラグラしたのは或る指紋係に〃お前たちが二アガツタことをするから…云々〃と云われた時で癪にさわつたから猛烈に突つかゝつてやつた。大牟田の二日目にも〃山本は黙秘権を使わんだつたはいな〃とからかわれたときも無性に腹が立つて食つてかゝり名前を云えと迫つたがどうしても云わず、黙秘権で逃げられたがどつちが調べられているかわからんとこぼしていた。検事のあげ足も何回か取つた、そんな調子だつたので私に対しては腫れ物にさわるように大分態度が柔くなつた。久留米で開示公判の翌日終日事務官と口論したその晩古賀の卒倒事件が起り〃山本〃山本〃としきりに私の名前を呼ぶので答えてやりたかつたのだが、規則もある事だしじつとこらえていた　その代り古賀の昂奮を鎮めるため会わせろと要求したが、規則を楯に断つたからしまいにはこちらも昂奮して〃古賀ア〃〃山本〃と相互に大声で呼びかわし泣き出した。隊長として隊員が検束されたのを聞く毎　胸がかきむしられるようだつたが、特に古賀のからだの事が心配だつた。

古賀　大牟田で一日、久留米で一日、福岡で一日調べられた。私は胃ケイレンの持病があり、開示公判の廿六日ジープで往復揺られたせいか翌日はグッタリからだが弱り、朝診察を願い出ておいたが九時半呼び出されたので医者が来たのかと思つて行つたら事務官の取調べだつた。その前に監守に診察の事をきいたら〃おう、待つとけ、昼からだ〃と云う返事だつた。然しその時は監守の口利きで帰房を許され一時間程して医者が来たが〃大して気にとめる程のものではない〃と軽く扱われノージエウ散と云うのを三服呉れた。朝食も昼食もハシをつけないで寝ていたが夕食は少しでもと思い一口二口無理に押しこんで居ると頭があいて事務官に呼び出され種々応酬があつたのち〃胃ならば叩いて自白させる事も出来たのだ云々〃と云つたのがムカ〳〵したので〃暴力行為〃を問題視して我々を検束したあなた方が暴力を口にするとは何事だ〃と食つてかゝると〃そういうお前たちこそ現に暴力を振つたではないか〃と云うので〃何の根拠があつてそんな〃暴言を吐くのか〃と涙を浮べて詰問すると今度は〃抜け〃と〃誰がそんな事を云つた？こゝに監守も立合つて居るから聞いて見ても好い〃とまるで人を食つたような返事をするので余りの事にハラの底から怒りがこみ上げ、一日食事をとらないで、からだが弱つていたせいか足の方からしびれるような感じでそれが心臓に近づいて来たと思う間に失神してしまつた。直ぐ気がついたものゝ自分でも抑えようのない昂奮状態に陥り、山本が無性に恋しくなり山本に合わせろと一時間位も泣き叫んだ。のちかたには山本も泣いて二人で名前を呼び合つた

刑事検事を謝らす

司会　ではこゝらで時に印象的だつた事柄をきかせて頂きましょうか。

松原　うれしかつたのは三日目、調べられている所にはたかぜのマイクの声がきこえて来た。何とも云えない気持ちだつた。

司会　刑事と検事では矢張り調べ方がちがいますか？

松原　刑事は粗暴です。当り前の人間とは思えない、それにくらべると検事は言葉だけは優しいが、鋭く突つ込んで来る、調べ方が上手だ。然し刑事連中も〃お前たちの調べが一番ウラメシカ、手当も少いのに何日も居残りをやらされる。泥棒やかつぱらいは直ぐ自状する〃とこぼしていました。

森田　私は初め三時間位黙否権を行使した。隊員の名前を云えと迫られたが一切知らんで押し通した。部長が出て来て〃コンチクショウ部下のやつた事の責任位とれ、おいこら〃とこんな調子で責められ、揚句の果てはデタラメ調書を作り上げこれに判をおせと云うのですが勿論拒否しました。二日目は此方から猛然と逆襲に出て前日横柄な取調べ方をした刑事を一人々々取つちめとう〳〵謝らせた　検事に対しても同様食つてかゝり〃至らん事を云つて済みませんでした〃と陳謝させた。

麦飯に澤庵二切

同房者に労働歌教う

司会　檻房と云うところはどう云う処だと云う話を─

山本　各房には檻房長と云うのが居る。大抵古顔や重罪容疑者が成る。初め新入りだと云うので「向うへ行け」と一番奥の便器のにおいのする席にすわらされたが、色々聞きただされた上こつちに来んですかと入口の上席に移された。親と喧嘩して家をとび出した放火未遂、パチンコ屋あらし、サギ、それにヒロポン中毒で傷害前科何犯の檻房長と云う顔触れだつたが、社会情勢を話して呉れとせがまれるまゝに社会主義その他について種々話して聞かせたところすつかり感激してそれ以後は非常に好くして呉れ、新入りの仕事である便所掃除もしなくて済んだ。飯はひどい麦飯で量も少くおかずは沢庵漬けが二切れ、久留米では独房（広さ一坪半）に入れられ初めて月を泌み泌みとながめセンチな気持ちになつた。設備としては拘置所の方がはるかに好く本も読む事が出来、ラジオもニュース以外は聞かせて貰える。風呂にも毎週土曜日入れるのだが淋しくて困つた。組合から差入れされたマーク入りのタオルを入口にかけて組合活動のあれこれ、仲間の顔など思い浮べせめてもの淋しさを晴らした。朝から夕方まで座りづめで非常に苦しく胃が悪くなつた。就寝は午後七時、運動不足で十二時頃には目が覚め、それから朝までがとても苦痛だつた。それから福岡に移られ初めて〃青きもの〃を着せられた時の気持ちは何とも云えなかつた。こゝではグルリに死刑囚の房があつて好く顔を合せた。直ぐ目の下に刑場（絞首台）が見えるのですがその人達は悟り切つて居るようだつた。久留米に居る時菊川氏と諫山弁護士が面会に来て下さつた時は実に嬉しかつた。

松原　私は大牟田に一番永く居た関係ですつかり古顔になり檻房長にまつり上げられた。同房の連中も我々の組合活動をよく理解して呉れ、しまいには労働歌も覚えこんでしまいこちらでうたうと向うでもうたうと云つた調子で、監守から〃留置所を旅館のごと思うとる〃とこごとを食つた。

森田　私は六房に居たが、笹川係長の家に入つた強盗犯人と一緒だつた。名前を山下と云い上山田炭鉱で組合役員をやつた事もあり〃あんた達は好かなあ〃と羨しがつて居た。彼の公判の時には行つてやりたいと思う。

（この他色々話は弾んだが紙幅の都合で割愛致します。尚池田君の手記は次号に廻します。）

司会は平島編集部長

冬に備えて
紳士服・オーバー・学生服
レインコート・メリヤス
カツターシヤツ・肌着
別誂御註文　㊕　服承ります
良品　Ⓚ　正価
ヤクオーイン
栄町　TEL2130 2331

靴
流行の先端を行く　紳士 婦人 革靴
三鏡労組指定店
三川・三池専門店会の店　チケット大歓迎
三川屋靴店（上野商店）
三川町金映横　TEL6272

外出着の欲しい
季節となりました
洋品　雑貨　紳士服　子供服
三鉱労組三川支部指定店
三川専門店会の店
菊池雑貨店
大牟田市三川町5丁目　TEL6159

えびす祭大売出し　16日─23日
嫁入道具一式
石油コンロ
七輪用テーブル
和洋家具各種
大割引
◎月賦販売（チケットを御利用下さい
三鉱三川坑・電化工場・三池専門店会指定店
㊕　高千穂家具店
大牟田市三川町一銀行横　電話6105